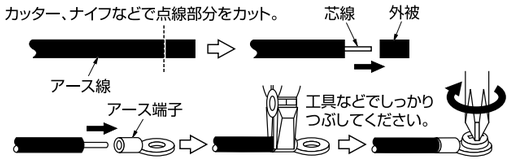
アースのとり方

①アース線先端の外被をはがしてください。
②アース端子をシャーシからはずしてください。
③アース端子にアース線を通して、圧着工具でかしめてください。
④アース端子をシャーシにねじ止めしてください。

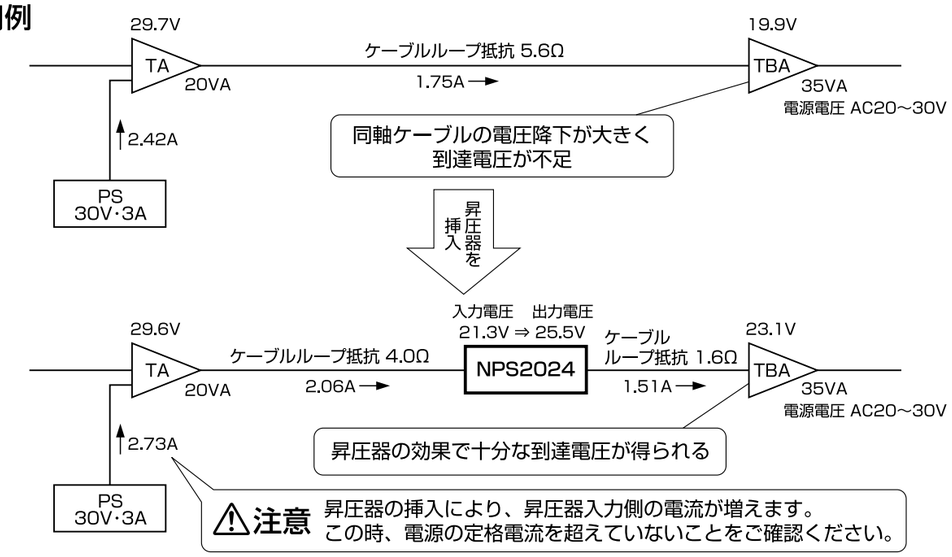


ポイント アース線はφ1.6～2.0mmのⅣ線をご使用ください。

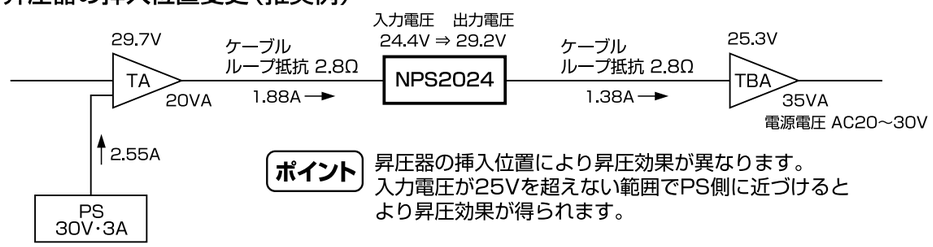
⚠注意 アース接続は必ずおこなってください。接地がおこなわれないと感電や機器の故障の原因となります。（接地抵抗 100Ω以下：D種接地工事）

使用方法

●使用例



昇圧器の挿入位置変更（推奨例）



ポイント 昇圧器の挿入位置により昇圧効果が異なります。
入力電圧が25Vを超えない範囲でPS側に近づけるとより昇圧効果が得られます。

※上記の数値は各機器の規格値（標準値）を基に計算したもので、実際のシステムでは多少の差異が生じます。

⚠注意
- ●本器の入力電圧はAC20～25Vの範囲でご使用ください。また、入力電流が3A以下、出力電流が2A以下となるように事前に十分な電源系の検証をおこなってください。
- ●本器を使用しても所要の電源電圧が得られない場合は、電源供給器の増設などの電源系の見直しが必要です。

情報通信が仕事です。
日本アンテナ株式会社
本社／〒116-8561 東京都荒川区西尾久7-49-8 ☎(03)3893-5221(大代)

※製品改良のため、仕様、外観の一部を予告なく変更することがあります。

D844002700　平成19年9月

日本アンテナ

取扱説明書・施工説明書

線路用電源昇圧器

Model NPS2024

目　次

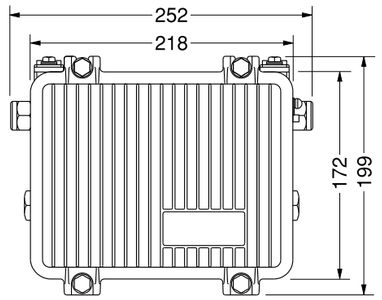
説明の始まるページ

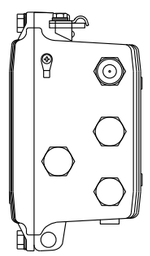
表紙
〔取扱説明書〕
外観および寸法図……1
取扱上のご注意……1
メンテナンス……1
安全上のご注意……2
特長……2
各部の名称……3
ブロックダイヤグラム……3
標準性能表……4
〔施工説明書〕
関連法規……5
設置場所・条件……5
蓋の開閉方法……5
取付方法……5
アースのとり方……6
使用方法……6

このたびは、日本アンテナ製品をお買い上げいただきありがとうございます。ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。工事の際には施工説明書に従って施工をおこなってください。お読みになった後は、いつでも見られるところに必ず保存してください。また、正しく安全にお使いいただくため、ご使用前に必ず「安全上のご注意」をごらんください。

取扱説明書

外観および寸法図





単位：mm
質量：5.0kg

取扱上のご注意

電気工事には専門の資格が必要です。
取付工事は、専門の施工業者にご依頼ください。

メンテナンス

いつでも美しいテレビ映像をお楽しみいただくために、年に1回は専門業者に保守・点検をご依頼ください。

安全上のご注意

絵表示について　この「安全上のご注意」、「取扱説明書」および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、お使いになるかたや他の人への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。
絵表示の例	
⚠	△記号は注意（注意・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容（左図の場合は警告または注意）が描かれています。
	⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近くに具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。
	●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください。）が描かれています。

⚠警告

- ●ぐらついた台の上や、傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。
- ●表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。
- ●本器に水が入ったり、本器の内部がぬれたりしないようにご注意ください。火災・感電の原因となります。
- ●万一、本器を落としたり、破損した場合は、電源の供給を停止して、電源線を本体からはずして販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
- ●雷が鳴りだしたら、アンテナ線、機器には触れないでください。感電の原因となります。　接触禁止
- ●本器を設置する際は、十分な安全を確保したうえで工事をおこなってください。事故やけがの原因となります。
- ●本器の上面カバー（接続端子部カバーは除く）をはずしたり、本器を改造したりしないでください。
  また、本器の内部には触れないでください。火災・感電の原因となります。内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。　分解禁止
- ●万一、煙が出ている、変な臭いがするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに電源の供給を停止して、電源線を本体からはずしてください。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対おやめください。
- ●万一、異物が本器の内部に入った場合は、まず、電源の供給を停止して、電源線を本体からはずして販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

⚠注意

- ●本器の上に重いものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。また、本器が変形し、火災・感電の原因となることがあります。
- ●ぬれた手で電源線の接続をしないでください。
  感電の原因となることがあります。
- ●湿気やほこりの多い場所、油煙や湯気が当たるような場所（調理台や加湿器のそば）に置かないでください。また、振動のある場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。

特　長

1. 本器は、電源を同軸給電する場合に発生する電圧低下を補正する電源昇圧器です。RF信号はそのまま通過し、電源電圧を1.2倍に昇圧します。
2. 周波数帯域は、70～770MHzと広帯域となっていますので、770MHzシステムの中継昇圧に最適です。
3. アルミダイキャストケースを使用しており、防水性、耐久性に優れています。
4. 入力・出力端子に電圧チェック端子が付いていますので、入力・出力電圧の確認が容易におこなえます。

施工説明書

関連法規　この製品は有線テレビジョン放送法などが適用されます。

設置場所・条件

- ●高温（40℃以上）の場所、有毒ガスなどの発生する場所はさけてください。
- ●本器の設置場所は、熱のこもる場所をさけてください。
- ●電気配線、配線工作物の近くや、強い電磁波を受ける場所をさけてください。
- ●メンテナンスに容易な場所を選定してください。

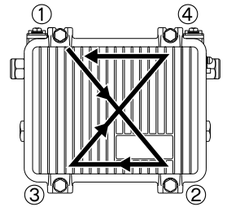
蓋の開閉方法

●蓋を開く場合

上下4本のボルトを右図のように対角線方向に指で回る程度までゆるめた後、上方の2本のボルトのみをゆるめていきますと、本体よりボルトがはずれ蓋は手前に開きます。

●蓋を閉じる場合

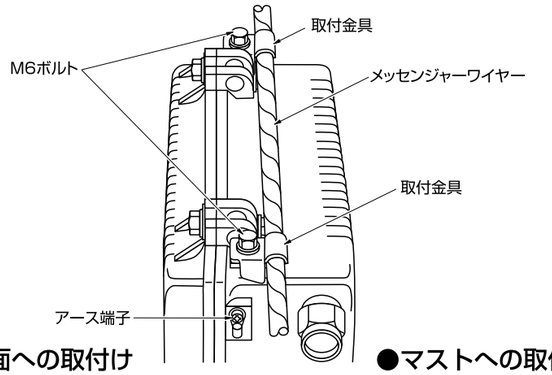
蓋を開く場合と同様に4本のボルトを対角線方向に徐々に締付けてください。締付けトルクは7.8N・m（約80kgf・cm）で均一に締付けてください。



取付方法

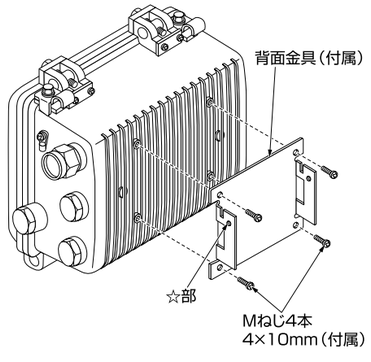
●メッセンジャーワイヤーへの取付け

①本体上部2ヶ所の金具でメッセンジャーワイヤーを挟み込み、M6ボルトでしっかり固定します。
②アース線をアース端子に付けます。



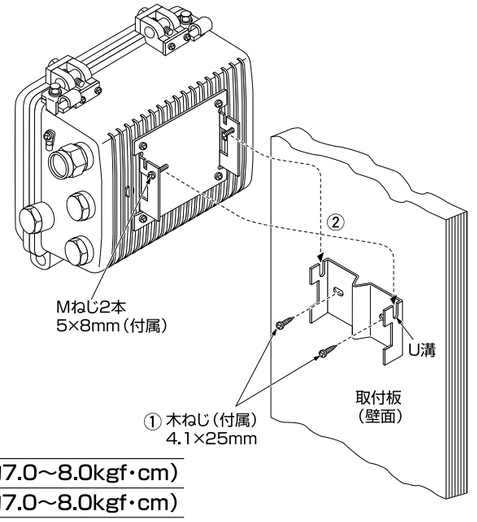
●背面金具の取付け

付属のねじ4本で背面金具を本体に指定の締付トルクで固定してください。この時、背面金具のねじ穴（☆部）が上になるようにしてください。



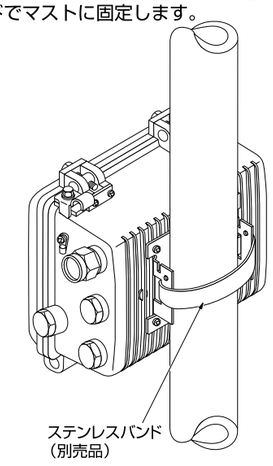
●壁面への取付け

①付属の木ねじ2本で壁面金具を壁面に指定の締付トルクで固定してください。この時、壁面金具のU溝が上になるようにしてください。
②付属のねじ2本を背面金具の☆部に取付け、このねじを壁面金具のU溝に引っ掛け、本体を固定します。



●マストへの取付け

背面金具の角穴を利用して、ステンレスバンドでマストに固定します。

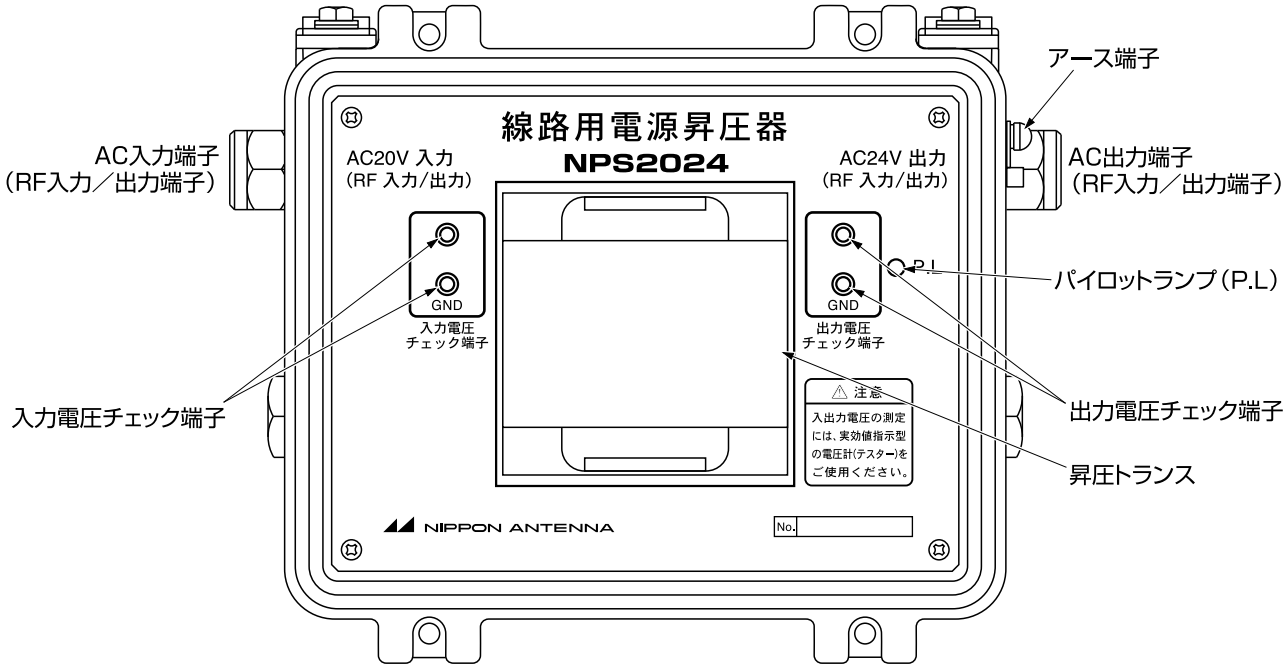


●締付トルク

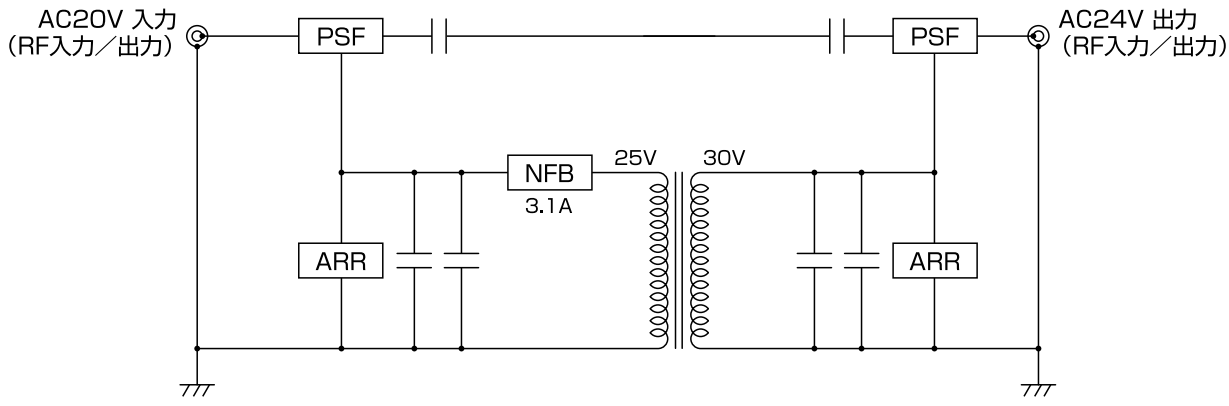
木ねじ 4.1×25mm	0.7～0.8N・m（約7.0～8.0kgf・cm）
Mねじ 4×10mm	0.7～0.8N・m（約7.0～8.0kgf・cm）
Mねじ 5×8mm	0.9～1.0N・m（約9.0～1.0kgf・cm）

※ねじで固定するときは、必ず指定のトルクを守ってください。

各部の名称



ブロックダイヤグラム



標準性能表

項　　目	性　　能		備　　考
周波数帯域（MHz）	70～300	300～770	
挿入損失（dB）	0.5以下	1.0以下	
電圧定在波比	1.5以下		
入力電圧（V）	AC20～25（50／60Hz）		
昇圧比	1：1.2		
効率	85%以上		
入力電流（A）	3以下		
出力電流（A）	2以下		
電圧偏差	±5%以下		
電圧変動率	10%以下		
入力・出力インピーダンス（Ω）	75		FT型接栓
耐雷性（kV）	±15（1.2／50μs）		
不要放射（dBμV/m）	34以下		3m法による
使用温度範囲（℃）	−20～＋40		本体周囲温度